

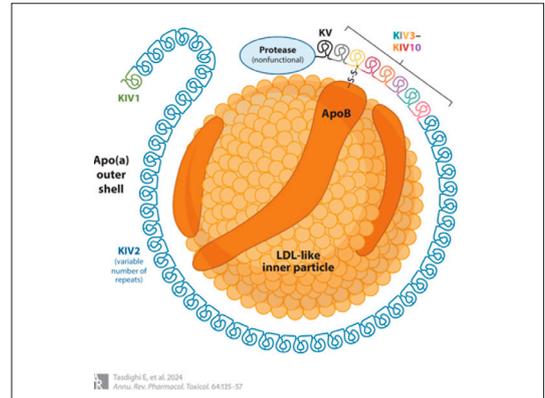
動脈硬化リスク因子リポ蛋白 (a) を抑制する食事療法

キーワード

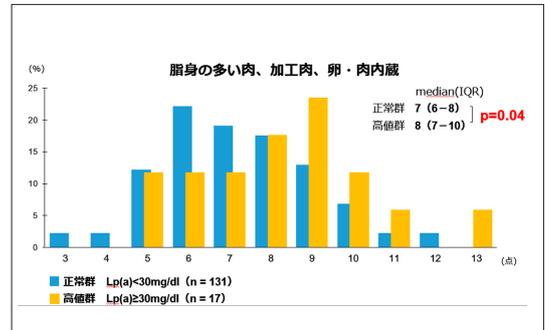
食事療法, 動脈硬化, リポ蛋白 (a), 栄養教育

研究内容

動脈硬化予防には、脂質異常症、糖代謝異常、高血圧などの生活習慣病の食事栄養療法が重要です。肉の脂身、動物脂、鶏卵、果糖を含む加工食品、アルコールの過剰摂取を控え、魚、緑黄色野菜を含めた野菜、海藻、大豆製品、未精製穀類の摂取を増やす食事が、The Japan Diet(日本食:JD)として動脈硬化予防のために推奨されています(日本動脈硬化学会)。リポ蛋白(a)(lipoprotein little a:LP[a])は、LDLコレステロール(LDL-C)と脂質組成が類似したリポ蛋白質にアポ(a)がS-S結合しており、大動脈弁の石灰化や血栓に関与しています。最近になり、LDL-C値が改善してもLP(a)値が高いと動脈硬化性の心血管疾患となる残余リスクとして注目されています。LP(a)値は遺伝的に規定されてもおり、いまだ薬物・食事療法は確立されていません。我々の研究室では、若年女性においてLP(a)を含めた動脈硬化性疾患の危険因子と食事の関連について検討を行い、JDを多く摂取している群では、LP(a)が低い傾向を認めました。さらにLP(a)値低下効果のある栄養素の解析を行い臨床試験で確認する予定です。



リポ蛋白(a)(lipoprotein little a:LP[a])



JDで控える食品群の摂取頻度とLP(a)値

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・前明日美, 佐藤加代子他. 「リポ蛋白(a)[Lp(a)]を含む動脈硬化危険因子と朝食における“The Japan Diet”摂取との関連」第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2024年7月
- ・前明日美, 佐藤加代子他. 「若年成人女性を対象とした“The Japan Diet”とリポ蛋白(a)[Lp(a)]を含む動脈硬化危険因子との関連」第78回日本栄養・食糧学会大会, 2024年5月

社会連携・産学連携の可能性

LP(a)低下療法の薬物療法, 食事栄養療法は確立されていません。我々はLP(a)値低下にThe Japan Diet摂取が有効な可能性があると考えています。その効果検証やLP(a)値を低下させる新規食品開発などへの提案や共同研究が可能です。